

# 「大分合同新聞記事」のご紹介

校長 中村 成希

八洲学園大学国際高等学校の芸能スポーツクラス所属で、海外バレエ留学をしながら高校の学習も頑張っていた卒業生「清水 乃愛(しみず のあ)」さんの活躍が、大分合同新聞(令和5年8月24日朝刊)に載っておりましたのでご紹介します。【提供：大分合同新聞社データベース部】

## 渡欧前 郷土に感謝のバレエ



「『海賊』よりパ・ド・シラ」を披露する清水乃愛さん(左)と玉川貴博さん(別府市公会堂)

【別府】別府市出身で現在はフリーで活動しているバレエダンサー清水乃愛さん(20)の「夢のバレエコンサート」が22日、別府市公会堂で開かれた。

4歳から同市の「マリバレエ クラウス」でバレエを始め、小学校6年からロシアや米国で短中期の留学を経験。2019年4月から約1年半はアルメニア国立バレエ学校で学び、福岡市の「ガリビヤンバレエアカデミー」を経て、昨年4月から1年間は東京バレエ団に所属した。

10月からドイツを拠点に欧州で活動することを決め

## 人気の演目、情感豊かに

ている。渡欧前に応援してくれる別府の人に感謝を表しバレエの魅力を知ってもらおうと、念願だった地元での公演を開いた。

清水さん同様に欧州各国のバレエ団で学び、東京バレエ団とともに活動した玉川貴博さんをゲストに迎え、人気の演目「『海賊』よりパ・ド・シラ」をダイナミックで情感豊かに披露。257人の観衆を魅了した。

2人によるトークセッションもあり、清水さんは「留学を始めた頃からヨーロッパの雰囲気や練習環境が好きだった。憧れの場所で頑張りたい」と抱負を語った。

(高橋桂子)

別府市出身の清水乃愛さん